

2025 年度

SGT 活動レポート

第3回 陶芸講座 D班

1月21日(水)に第3回陶芸教室D班が行われました。

今回も、静岡市内で「陶芸りんご工房」を営んでいらっしゃる今井林檎先生を講師にお迎えして、前回作品に「高台」を作る「削り」の工程まで進んだ植木鉢と小物に、釉薬をつける焼く直前までの作業を行いました。

はじめに、いつものように今井先生から今日の作業について、手書きの図を使った説明をしていただきました。

釉薬は黄色、緑、白から、自分の作品のイメージにあわせて選びます。前回削りの工程で作った「高台」の部分や、内側の土が入る部分については、釉薬はつけてはいけないのだそうです。特に、高台に釉薬が付いていると、焼いたときにガラス質が作品を置いたところに溶けてくっついてしまうため、注意が必要です。そのため、釉薬をつけたくない部分に、撥水剤という、液体をはじく薬剤を塗り、釉薬がのらないようにするそうです。

今回の作業では、まず、撥水剤を作品に塗る作業から取り組みました。植木鉢の高台、内側に、はけで丁寧に塗る作業をしました。その際、小物についても釉薬をつけたのですが、これも底に接する部分には釉薬をつけてはいけないため、全体を釉薬に付けるだけでなく、はけで塗る手法も教えていただきました。

そのあと、いよいよ釉薬をつける作業ですが、服につくと色が絶対にとれないため、レインコートを着て行います。ていねいに教えていただいたため、みんな何とかうまく作業を終えることができました。焼いた後の色と、釉薬の色は異なるため、出来上がった後、どのようになるのかが楽しみです。

次回は令和8年2月18日(水)の予定です



林檎先生が、釉薬の付け方を
ていねいに指導してくださいます。

自分の作品に合う色を選んで、
釉薬の入ったバケツに入れていきます。

小物にも釉薬をつけますが、焼く
ときに底になる部分にはつかない
ように慎重に作業します。

はけで慎重に撥水材を塗りま
いよいよ焼く直前の状態にな
りました。